

# 足踏み脱穀に歓声

## 東京・中野の児童が体験

長岡の法人協力

長岡市で米の生産、加工などを行っているエコ・ライス新潟（阿部信行社長）が協力して29日、東京の中野区立上鷺宮小学校（高橋俊之校長）で、昔ながらの脱穀作業の体験授業が行われた。5年生63人が参加し、初めての作業に歓声を上げた。



同校の近くに同社が米を直販している人がいた縁で、4年前に学校田での稲作指導を頼まれた。この日は昭和初期ごろの足踏み式脱穀機を持ち込み、校内ではさ架け乾燥させた稲束などを、玄米とわら束にした。

同社を通じて本県で稲作実習などを行っている東京家政大の有志グループ

足踏み脱穀機で米の脱穀作業を体験する5年生  
29日、東京・中野区

プ「白藤プロジェクト」の学生7人も先生役で活躍。子どもたちはサポートを受けながら脱穀し、「足踏みは力がある」「回転が速い。あつという間に終わったね」などと驚きの声を上げていた。

脱穀した米を手でつくいて「ボン菓子」と呼ばれるおやつも作り、できたての香ばしさと甘さを全員で楽しんだ。